

## 夕張市下水道事業経営戦略策定について

下水道事業について、現状把握・分析、将来予測を行うことにより、経営基盤の強化及び財政マネジメントの向上を図ることを目的に、平成29年度から平成38年度までの10年間を計画期間とし、経営戦略を策定しました。

経営戦略とは、自らの経営等に的確な現状把握を行った上で、将来にわたって安定的に事業を継続できるよう中長期的な経営の基本計画を策定するものです。

この度、夕張市下水道事業経営戦略について策定しましたので、公表いたします。

### (策定の趣旨)

夕張市下水道事業では、将来、人口減少により使用料収入の減少が見込まれる一方、施設の老朽化に対応するための機器更新費用等の増加が見込まれます。

このように、経営環境が厳しくなるものと予想される中、安全安心な下水道サービスを持続的・安定的に提供するためには、徹底した効率化・経営健全化に取り組み、投資の所要額の見通しと下水道使用料などの財源見通しを均衡させることが非常に重要となります。

これまで、財政再建計画時に収支計画を策定し、使用料の改定及び人件費及び経費の節減に努めると共に、施設の耐用年数の延伸を図る長寿命化計画を策定し、計画的な更新を行ってきました。

そのような中、平成26年8月に総務省から、地方公営企業の経営基盤強化と財政マネジメントの向上に取り組むための「経営戦略」を策定するよう通知があったことを受けて、現状と将来見通しを踏まえ、現行の収支計画に加え中長期的な経営の基本計画として策定したものです。

### (計画期間) 平成29年度から平成38年度まで(10年間)

経営戦略の実施状況については、計画(Plan)・実施(Do)・検証(Check)・見直し(Action)の、いわゆるPDCAサイクルにより評価・検証を行いながら、随時見直しを行います。また、経営戦略と乖離が著しい場合、経営戦略の前提となる経営、財政の条件が大幅に変更になった場合にも見直しを行います。

### (経営の基本方針)

「安全安心な下水道サービスを、持続的・安定的に提供する。」